

NPO法人幕別札内スポーツクラブ

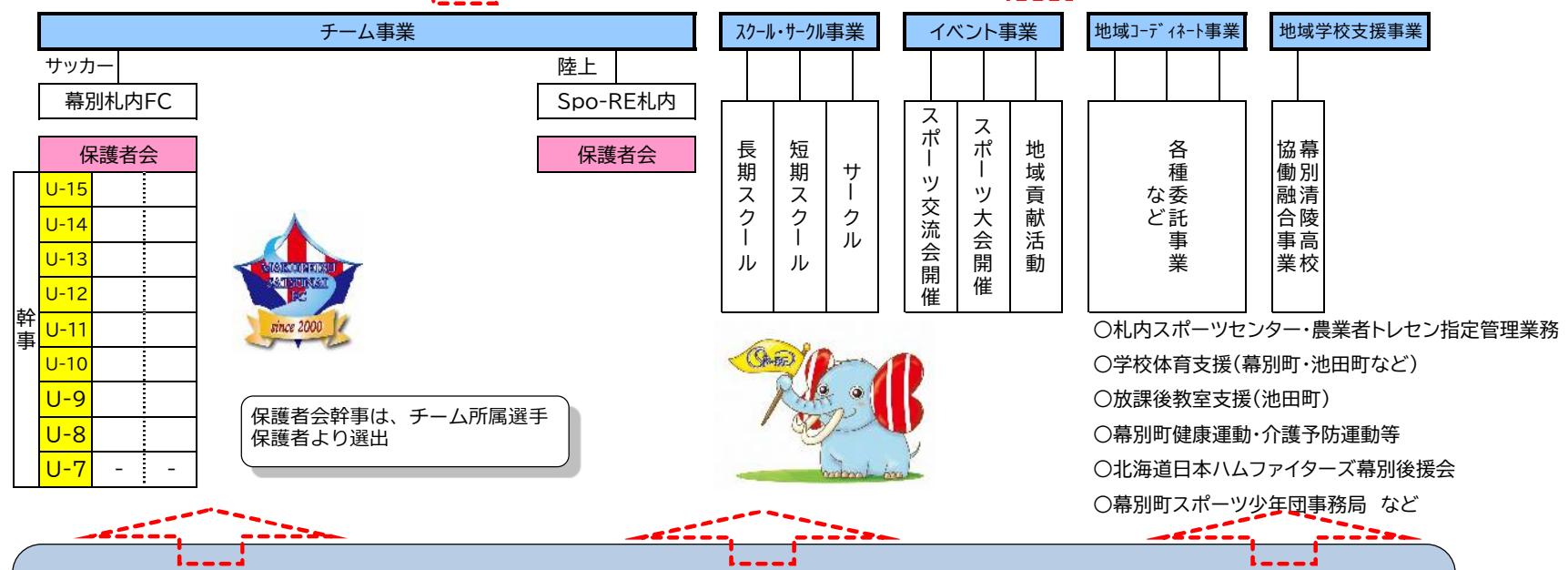
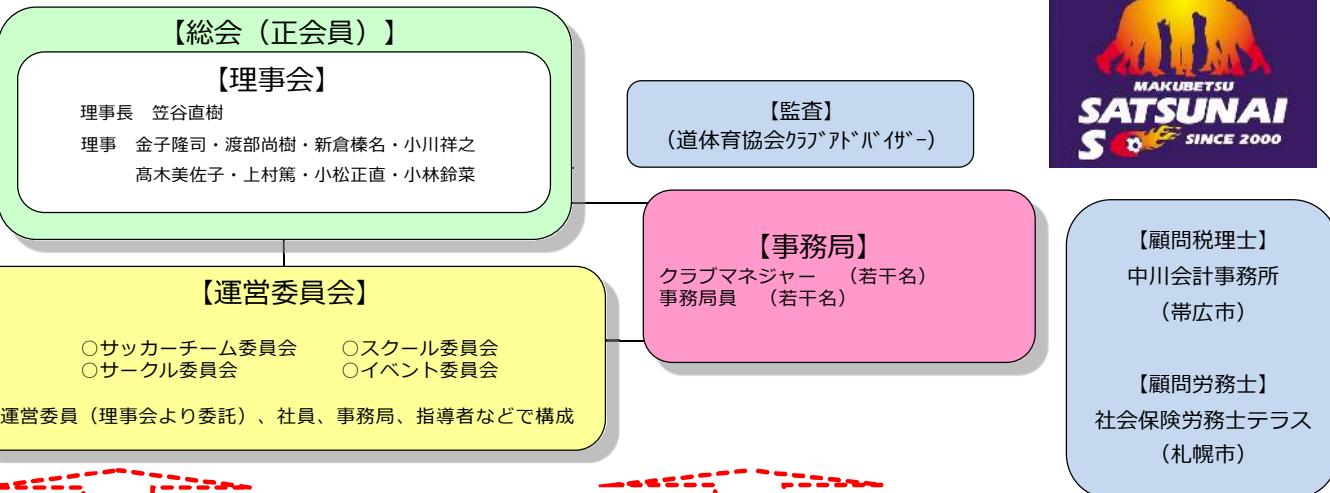


**Spo-RE札内陸上クラブ  
2021説明会資料**



# NPO法人幕別札内スポーツクラブ運営組織図

本クラブの組織は、理事会と事務局を中心に、運営委員会を開催し企画・運営をしていく。  
理事は理事会において選出し、総会の議決を経て承認される。報酬は支給しないが、常勤の職員には理事会の議決を経て支給することができる。



## 地域のみなさま

# 幕別の「運動部活改革プラン」

## 国の委託事業に採択

【幕別】NPO幕別札内

スポーツクラブ(笠谷直樹理事長)が提案した「運動部活動改革プラン」が、スポーツ庁の今年度委託事業に採択された。幕別清陵高校(澤田慎也校長)との連携を軸に「幼小中高校一貫指導体制の構築」「高校生が企画運営する多世代型運動部の創設」に取り組み、地域全体のスポーツ力向上を目指す。道内から同プランが採択されたのは初めて。

運動部の活動をめぐっては、顧問を務める教職員の長時間労働や、教職員に競技経験がなく専門的指導ができないなどの課題がある。スポーツ庁は、生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築へ抜本的改革を進めている。

委託事業は来年3月までで、事業費として約500万円が補助される。事業の調査・研究は、同クラブのスタッフや同校教諭、中学校の部活指導者、全国の総合型地域スポーツクラブ(SC)連絡協議会幹事長らで構成するプロジェクトミーティングが進める。プロジェクトサポーターとして、

部活動の指導者不足が顕在化。昨年4月に開校した幕別清陵高でも、部活動の充実が課題となっている。

委託事業は来年3月までで、事業費として約500万円が補助される。事業の調査・研究は、同クラブのスタッフや同校教諭、中学校の部活指導者、全国の総合型地域スポーツクラブ(SC)連絡協議会幹事長らで構成するプロジェクトミーティングが進める。プロジェクトサポーターとして、冬季五輪種目「スケルトン」選手の上原志津佳さん(鹿追町)を雇用する。

「幼小中高校一貫指導体制の構築」では、児童から高校生までの発達段階に応じた目標を設定、指導者に過度な負担を生まない指導方針の検討を進める。SCとの連携で顧問の負担軽減につなげるとともに、希望する教職員には勤務時間後に同クラブスタッフとして指導に当たることも想定する。

すでに同校陸上部は6月から週1回、札内スポーツセンターで同クラブ陸上チームの子どもたちと合同練習し、スタッフから専門的指導を受けている。また、「多世代型運動部の創設」では、部活に所属していない同校生徒や、さるに活動を広げたい生徒らに、運動部の企画運営を担当してもらう。町内のトランポリンやクライミングスタジアムの協力も得て、将来的には高校生だけではなく、地域に根付いた多世代型運動部を目指す。

同クラブの小田新紀

ブマネジャーは「地域の子どもたちのスポーツ環境が豊かになるよう、幕別のスタイルを確立していく」と、澤田校長は「これを契機に今の部活動の在り方を改善し、働き方改革について改めていけば」としている。

(澤村真理子)



**日常の「なぜ?」に「なるほど」示す**

# 部活動改革へ始動

スポーツ庁委託 幕別札内SCが初会合

**【幕別】**スポーツ庁の運動部活動改革プラン委託事業に道内初めて採択されたNPO法人幕別札内スポーツクラブ(SC、笠谷直樹理事長)は2日、札内スポーツセンターで第1回プロジェクトミーティングを開いた。参加者が課題を共有し、新たな「幕別モデル」の確立へ思いを新たにした。

## モデル確立へ課題共有

国は生徒にとって望ましい部活動の環境整備と教職員の負担軽減に向け、休日の部活動の段階的な地域移行などを進める方針。

委託事業では、開校2年



幕別モデルの構築へ思いを共有したプロジェクトメンバー

目の幕別清陵高校(澤田慎也校長)との連携を軸に「幼少期から高校生まで一貫指導体制の構築」「高校生が企画運営する多世代型運動部の創設」の二つを進める。地域人材の効果的な活用などを通じて、高校生のスポーツ活動を支える体制の構築や地域全体のスポーツ力向上を目指す。

プロジェクトメンバーは、SC全国ネットの役員や道スポーツ協会のクラブアドバイザーら町内外のスポーツ・教育関係者らで構成し、この日は18人が参加した。

同SCの小田新紀クラブマネジャーの事業概要の説明に続き、澤田校長が同校の部活動を取り巻く現状について紹介。生徒の加入率が半数程度にとどまることが、教員の長時間労働といふた課題を挙げ、全学年がそうう来年度からは部活動の「一層の充実に取り組む考えを示した。

意見交換では、「熱意のある(先生が転勤すると同時に取り組みが終わってしまうケースは多々ある。それをつないでいくのがSCC」との指摘や「この取り組みがうまくいくとSC、

学校のみならず、地域が良くなる」との声が上がった。

(澤村真理子)

清陵高の部活連携を視察

道教委

この日は道教委教職員課の今村隆之働き方改革担当と質問した。今村課長は「小さな子どもたちの面倒を見ているのは高校生の教育活動としてとてもいいこと。多くの地域で取り組んでもらいたいと思える活動」と話した。

(澤村真理子)

この日は道教委教職員課推進係課長補佐ら4人が合同練習を視察。子どもたちと触れ合いながら練習に励む高校たちに「学校での練習内容は」「合同練習に

在り方の検討に向け、道教委の担当職員が10月29日、地域との連携による取り組みのモデルとして幕別清陵高校(澤田慎也校長)の活動を視察した。

同校陸上部は専門の指導者が不在のため、6月から週1回、札内スポーツセンターでNPO幕別札内スポーツクラブ(笠谷直樹理事長)の陸上チームの子どもたちと合同練習し、クラブのスタッフから専門的指導を受けている。

道教委職員の質問に答える幕別清陵高陸上部の生徒たち(左)



よる成績への影響は」など

幕別清陵高の全生徒  
スポーツクラブ会員に

教職員負担軽減  
バス送迎も可に

順次クラブに移行し、希望する教職員には勤務時間後にクラブスタッフとして、部活動や地域の小学生らの指導を担つてもらう。

将来的には運動部のほか、同クラブが窓口となつて地域の人材を紹介し、生徒や地域の子どもたちの文化系活動の充実にもつなげたい考え。澤田校長は「課題を検証しながら一つの形

をつくつていきたい。できることから取り組んでいければ」と話している。

同クラブは今年度、スポーツ庁委託事業の「運動部活動改革プラン」に採択され、全道の教育・スポーツ関係者でつくるプロジェクトミーティングで、地域一体となつた部活動の在り方などについて調査・実践している。（澤村真理子）

年がそろう。クラブ会費は3年間で1人5000円（1・2年生は年間200円、3年生は同1000円）で、幕別町から同校教育振興会への補助金を充てる。

担軽減につなげる。  
また、生徒がクラブ会員となることで、これまで課題だった部活動の大会や校外学習、地域でのボランティア活動などの際の移動手段として同クラブのバスに

クラブとの連携強化による

より送迎が可能となる。

り、部活指導による教職員の長時間勤務の解消が期待されるほか、パークゴルフやスキー授業ではクラブス

一方、スタッフによる専門的指導などで協力するクラブ側は、ボランティアではなく、会費を納めてもら

タッフが場所の予約や講師派遣の手配をし、学校の負

う」として持続可能な仕組みを整えていく。部活指導は



NPO法人幕別札内スポーツクラブ

# Spo-RE札内陸上クラブについて

## ○クラブができた経緯

幕別町には陸上競技に関わる少年団があるが、札内地区にはない。札内地区の子ども達が、札内地区で陸上競技ができる環境をつくりたい！

⇒ 2015年『Spo-RE札内陸上クラブ』 札内川河川敷で活動スタート

今ある環境の中でできる競技を中心に…。

## コースについて

### ○ 週1回コース（火曜日） 月額2,000円（税・保険料込）

活動場所（夏場）；札内川河川敷

- ・低学年（1～2年生） 16時15分～17時15分
- ・高学年（3～6年生） 17時30分～19時

### ○ 週2回コース（火曜日 + 木曜日） 月額3,000円（税・保険料込）

活動場所（夏場）；【火】札内川河川敷 【木】札内スポーツセンター前広場

火曜日の練習は週1回コースの子達と一緒に行います。

- ・低学年（1～2年生） 16時30分～17時30分
- ・高学年（3～6年生） 17時40分～19時

※① 週1回コースは、火曜日のみ！木曜日のみは行っておりません。

※② 冬季期間、春先は、場所や時間が変更になります。

## ○冬季スポーツに参加される子 限定

- ・【参加料】 1回 500円（税・保険料込）
- ・【対象】 1ヶ月以上の会員期間がある子

※① 火曜日・木曜日どちらでも参加可能

※② 少年団等の所属先の提示

## 大会参加について

### ○ 大会は「目標づくりの場」・「成長の場」

- ・十勝陸上競技協会主催大会の対象学年は、主に3年生から

## 今年度の主な対象大会

☆ サーキット第3戦 5月15日（土） / 帯広の森陸上競技場

☆ 全道予選大会 6月20日（日） / 帯広の森陸上競技場

★ 全道大会 7月23（金）～24日（土） / 函館市

- ・服装はユニフォームか、短パン・Tシャツ
- ・スパイクは各家庭にお任せしています。

## その他

幕別町主催の大会に出場する場合、保護者の皆様に審判のお手伝いをお願いしております。

## ○ 応援について

「教えすぎ」によって、「判断力」がなかなか身につかないということが、スポーツ界・教育界での課題となっております。

大事なことは単に勝ち負けではありませんので、皆様の応援も、選手を励ます応援、失敗を受け止める応援を、『楽しみながら』よろしくお願い致します。



NPO法人幕別札内スポーツクラブ

## Spo-RE札内陸上クラブ 指導方針

### 選手の将来のために

#### ○ 好記録、上位入賞すること・育てることのバランスを考えながら

- 競技である以上、いかなる試合でも常に勝利を目指すが、クラブ活動の「目的」ではない。
- 目先の好記録・上位入賞のために、将来の大きな成長を阻害しない。  
例えば、「ケガや痛みのある選手を無理に出場させる」  
リレー種目の場合「その時点での能力や対格に勝る選手に偏るというような選手起用を毎回しない」
- 次のステップアップに向けて、選手一人ひとりがそれぞれ夢と希望を持てるようにすること。
- 選手の成長（発育や発達含む）を見極めながら、身に付けるべきことを優先させる。
- Players First（プレイヤーズファースト）：何事も、選手たちにとって何が一番良いのかという基準で考える。  
⇒選手を甘やかす、自分勝手を許すということではない。
- 現時点での能力だけを観るのではなく、将来新たな能力を身に付けた時の姿を思い描きながら一人ひとりの選手に関わる。

### コーチングの目的

#### ○ 陸上競技の「楽しさ」を伝え、クリエイティブでたくましく、豊かな人間性を育む。

個人競技なので参加する目的は一人ひとり違うが  
「走ること・身体を動かすことが楽しい」という気持ちを大切にする。

①動く楽しさ	(活動欲求が満足できる)
樂 ②かかわる楽しさ	(仲間との支え合い高め合い、コミュニケーション能力の向上)
し ③できる楽しさ	(できないことができるようになる … 技術の習得)
さ ④知る楽しさ	(知らなかったことを新たに知る … 知識の習得)
⑤わかる楽しさ	(動き方がわかる … 技術の向上)



#### 【解決法を「与える」のではなく、自ら「見出す」能力を育てる】

- コーチからの発問に対し…選手が自分で考え…解決策を見出す。（選手自身が判断する能力を磨く）
- 「知識」を獲得するだけではなく、獲得した「知識」を活用・応用し、物事に対して、いつ、どんなときでも明確に対応できる「知識」を身に付けられるよう促していく。

「観て、聞いて自分で判断して競技する楽しさ」を得る

### 良い習慣の追求

#### ○ チームの仲間、支えてくれる方に貢献しようとする 「努力・心構え・やる気」の育成

##### 『試合・練習など』

⇒ やる時は真剣に、競争を通して培うたくましさ

##### 『試合・練習以外など』

⇒ 生活習慣をより良く

- 「学業」との両立
- バランスの良い「食事」
- その場に適した「挨拶」
- 適切な「休息」

### 様々な「体験」の蓄積

#### ○ 子どもの頃の様々なスポーツ体験、生活体験の重要性が叫ばれています。

#### ○ 「知・徳・体」ではなく、「体・徳・知」を。

#### ○ 「成功体験」と「失敗体験」のバランス

#### ○ 大人が見守り、寄り添い続ける。

### 総合型クラブとしての一貫指導

#### ○ 考え方・コンセプトを全スタッフが共通理解のもと指導にあたる。 他分野からの視点で選手の多様性を見出す。

- ① 長期目標・短期目標
- ② 年間・月間・週間のトレーニングの目的と内容
- ③ 選手一人ひとりの能力と、チームの評価
- ④ 総合型クラブとしてのやくそくごと
- ⑤ 総合型クラブとしての理念追求

# 英才教育より複数競技

子どもとスポーツ 第11部

## けがをなくそう

下

きょうラグビーを習え  
塑週は野球で、別の日  
はサッカー——。東京都豊  
島区を拠点とする小学生対  
象のスポーツ教室「ボール  
パーク」は、五つの球技に  
取り組む。毎回変わる練習  
内容に、子どもたちからは  
「今度は何?」と、はしゃ  
ぎ声が上がる。

運営会社の齊藤祐也社長  
(37)は「色々な球技をやつ  
てバランス良く体を鍛えて  
もらいたい」と狙いを語  
る。「種目数はさらに増や  
す予定。一つのスポーツに  
特化していないので、けが  
もしにくい」

## 多様な経験、試合でも生きる

「ボールパーク」のスケジュール例

2015年

1月 5日 ラグビー



19日 サッカー



26日 アメリカンフットボール

2月 2日 フラッグフットボール



9日 ラグビー

16日 サッカー

3月 2日 フラッグフットボール

16日 ラグビー

30日 野球

中心選手まで上り詰めた。  
「自分はサッカーで身につ  
いた視野の広さがラグビー  
に生きた。色々な筋肉を鍛  
えていたので、けがも少な  
かった」。現役時代にプレー  
したフランスのコロミエ  
で、老若男女が色々なスポ  
ーツを楽しめるクラブを目  
の当たりにし、1年半前に  
この教室を立ち上げた。

群馬県高崎市のNPO法  
人新町スポーツクラブの新  
町SVCスポーツ少年団  
も、多くの競技や遊びを体  
験させるのが特徴だ。活動  
日は毎週日曜日。ドッジボ  
ールやサッカーもあるが、  
鬼ごっこや押しくらまんじ  
ゅうなど1日に複数の運動  
をこなす。同じスポーツを  
毎週のように続けることも  
なく、秋は野外活動、冬は  
スキーにも挑戦する。

複数競技は1967年の  
設立以来の伝統だったが、  
80年ごろから男子はサッカ  
ーで、女子はバレー、ボルを  
中心にして練習も厳しくし  
た。すると、高校で部活に  
入った出身者の2割がけが  
に泣かされたという。サッ  
カー部員は足首、バレー部  
員は腰や肩に慢性的なけが  
を抱えた。10年ほどで、多  
様さを大切にする元のスタ  
イルに。小出利一(クラスマ  
ネジャー)は「今は、使いす  
ぎだけがをする出身者はい  
なくなつた」。

成長期の子どもたちにと  
っては、1競技に特化する  
ことなく複数の競技に取り  
組んだ方が、特定の部位の  
使いすぎによるけがは減  
る。ところが、2011年  
に笹川スポーツ財團が日本  
スポーツ少年団の指導者約  
700人を対象にした調査  
では、年間を通じて様々な  
競技を探り入れている指導  
者は9・3%に過ぎなかつ  
た。

## 特化が美德に

早大の友添秀則教授(ス  
ポーツ教育学)は「明治時  
代以降、日本社会は欧米に  
追いつけ追い越せだった。  
勝つためには、けがは仕方  
ない」という者がスポーツ  
に定着。戦後も終身雇用が  
中心の社会で、人生で一つ  
の道を究めることが美德と  
された」。1競技に特化す  
る傾向は、日本のスポーツ  
ペアレンツジャパンの村田  
一恵代表は、複数のスポ  
ークスを経験させるように勧め  
ているが、「ハーダルは高  
い」と現実を語る。掛け  
持ちをすると、どちらか  
のチームの試合を休まざ  
るを得ず、迷惑をかけてしま  
う上、経費もかかるから  
だ。

二つの習い事をする場合  
には、サッカーチームに所  
属しつつ、別のサッカー教  
室に通うなどのケースが目  
立つという。村田代表は  
「二つのスポーツをやるチ  
ームが、時には他のスポ  
ーツに取り組むことはできる  
はず。けがを減らすだけで  
なく、燃え尽き症候群やス  
ポーツ嫌いの子どもを減ら  
すことにもつながる」と提  
案している。(後藤太輔)

自身は小学生時代に水  
泳、剣道、野球を経験し、  
中学でサッカーを習った。  
高校からラグビーを始め、  
明大からサントリーハー。ナ  
ンバー8として日本代表の

# 五輪選手どう育てた?

## 幕別出身3選手の両親語る

**【幕別】**東京五輪マウンテンバイク競技日本代表の山本幸平選手ら幕別町出身の夏季オリンピアン3人の両親によるトークショー(幕別町、同町教委主催)が26日、町百年記念ホールで開かれた。選手の幼少時代や、親としての選手や競技との向き合い方について語り、70人余りの来場者が興味深く耳を傾けた。

「子どものスポーツを支えるための研修会」として開催。山本選手の父哲也さんと母玲子さんが登壇し、女子7人制ラグビーの桑井亜子さんがオンラインで参加した。山本選手は野球や剣道、福島選手はスケートやピア

両親は子ども時代に複数の競技や習い事を経験。桑井選手の母法子さんは「本人がやりたいことはやらせていました」とし、3選手の両親いずれも本人の希望を尊重していたと語った。

福島選手は小規模校の糠内小に通っていたため、輝幸さんは「いろんな友達を入れさせてもらつた」とし、「(町外での陸上やスケート練習に参加するため)送り迎えばかりしていた。ご飯を食べる時間がないので、一口おにぎりを作つて車の中で食べさせていた」と振り返った。

会場から「幼少期にさまざまなスポーツに打ち込んだことが生かされているか」との問い合わせ、山本選手の父哲也さんは「剣道や卓球で瞬発力やバランス

## 「本人のやりたいこと尊重」



(が養われたのではないのか)。食事に関する質問では、山本選手の母美智子さんが「高校生の頃から揚げ物は食べてない」とストレートに打ち込んだ。バドミントンに打ち込む中高生の子を持つ町内の露木雪絵さん(42)は「競技については指導者に任せて口出しないことや、大変な送迎も楽しむことが大切なんだと思いました」と話していた。(澤村真理子)

▶動画は電子版で

(右から)山本、福島、桑井3選手の両親(26日、幕別町百年記念ホールで)。小山田竜士撮影

# 親として避けるべし：大学生アスリートに聞いた「子どものころのスポーツの最悪な思い出」



子どものスポーツの大会などを見に行くと、横柄な親の姿が目につきます。あからさまに、審判をやじったりコーチをバカにしたりして、子どもに恥ずかしい思いをさせる親もいます。でも、困った親はそれだけではありません。善意からの行為が、無意識のうちに我が子のスポーツという体験を台無しにしているケースもあるのです。よかれと思ってやっているだけに、むしろこっちの方がやっかいなのかもしれません。

Proactive Coaching LLC のブルース・E・ブラウン氏とロブ・ミラー氏は、かつてスポーツコーチをしていた経験をいかし、学校などで大人向けの講演を行い、知らず知らずのうちに困った親にならないための方法を伝授しています。2人は数百人の大学生アスリートを対象に、子どものころにあったスポーツにまつわる最悪の思い出を調査しました。その結果、「試合終了後に親に送ってもらう車の中」という答えが圧倒的に多かったのです。

その理由は、「まだ汗も乾いてないうちに」、親が試合内容についてあーだこーだ言うからではないかと言われています。試合直後の子どもにとっては、勝ち負けは関係なく、自分のプレーやコーチの采配などについてグダグダ言われるのが嫌なのです。観客でも偽コーチでもなく、「親はただの親であってほしい」のが子どもたちの願いだと、ミラー氏は言います。

スポーツとは、子どもの人生において、「好きなようにやりなさい」と親に言ってもらえる数少ない場所です。彼らにとっては、リスクを取り、失敗に対処するのに、これほど

いいチャンスはないでしょう。なぜなら、スポーツの結果は致命的にはなりえないからです。あくまでもスポーツはスポーツ。ですから、スポーツで何かうまくいかないときに、わざわざ親に出てこられるのは子どもにとって嫌なことですし、その必要もないのです。

所属しているチームが安心できる環境だと確信したのなら、あとはすべて、コーチと試合の成り行きに任せてください。成功も失敗も、すべて子どもたちのものなのです。

親として言ってもいいのは「君のプレーを見てるのが楽しい」。それだけです。余計な口出しはしないで、ただ楽しむべし。筆者の個人的な見解としては、これはスポーツだけに限ったことではないような気もしますが。



# 子どもたち伝えたいこと

『最初からスケートばかりをやっていたわけではない。小さい頃から、いろいろなことをやってきた。』

『何か一つのことを極めていこうというとき、何か壁にぶつかった際に、いろいろしてきた経験が役に立った。』





# 【日常活動に関わって】

## 1. 電子メール・HP・ブログ・SNSの活用について

配布物について、基本的にはパソコンの電子メールでの配信とします。但し、お持ちでない場合は、FAXなどの対応をとります。

また、皆様から指導者への連絡につきましても、有効にご活用ください。

(緊急性のあるもの等は電話連絡をお願いします。メールを確認するには時間がかかる場合があります。)

今後事務作業の軽減・経費の削減のため、できるだけメールアドレスの取得をお願い致します。

**なお、連絡をいただく場合は、必ず選手名を明記されるなど  
どなたからか分かるようにお願いいたします。**

(例) 「〇〇です。」 → ×  
「Spo-RE札内4年生の〇〇」です。 → ○

E-mail : ecsproject21@gmail.co.jp (小田)  
tumire0217@gmail.com (渡部)  
hrn2ikr.0323@gmail.com (新倉)

さらに、クラブの活動に関ることを各種SNSで紹介しています。

【ブログ】 <http://satsunaisc.east-hokkaido.co.jp/blog/>

【Facebook】 ブログ同様の内容をアップしています。

【インスタグラム】 makubetsu\_satsunai\_sc

【Twitter】 ユーザー名 @spo-re2000

【アプリ】



アプリダウンロード ! ⇒



## 2. 承諾書について

確認いただく意味でも、年度ごとに必ず承諾書を提出していただきます。

### 3. 練習参加について

① 必ずしも毎日参加しなければいけないものではありません。他の習い事、体調不調、用事などに合わせて、無理のないよう参加してください。様々な分野へのチャレンジを推奨しています！

② 持ち物

- ・タオル・飲み物・温かい服装・運動できるシューズ・その他必要と思われるもの

③ 休む場合の連絡

基本的には必要ありません。

もしケガ等や長期で休むなど特別に連絡を入れておいた方がいい場合はご連絡願います。

④ 雨天の場合

天候の状況によって中止の可能性もあります。

中止もしくは場所を屋内に変更する場合、メールで連絡いたします。

(原則1時間前までに判断しますが、練習直前に急に中止になることもあります。)

### 4. その他

○ 自分のことは自分でやれるように促してください。

○ 常日頃より、バランスの良い食事が摂れるようご配慮をお願いいたします。

(遠征では原則完食です！！急には食べられません。普段の意識付けです)

(「家で何度も言っても食べないんですよね～」は責任逃れです！)

○ 子どもたちは大人の操り人形ではありません。「子どもたちは、子どもたちの中で育つ」  
という意識で寄り添い・見守るスタンスでお願いいたします。

○ たくさんたくさん褒めて、励ましてください！もちろん時には叱咤激励も！！

○ 子どもたちの活動を通して、大人たちも思いっきり楽しんでください！！

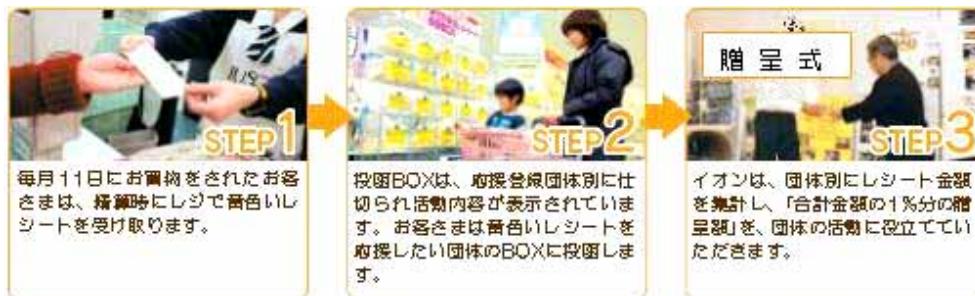
それが、また子どもたちにも返っていきます。

# イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン 応援登録団体募集要項

## 1. キャンペーンの趣旨、目的

イオン全従業員が地域への社会貢献活動をおこなう「イオン・デー」(毎月 11 日に開催します)に、地域で活躍されている「ボランティア団体」などに対して、イオンがその活動に役立つよう物品をもって助成するものです。

## 2. キャンペーンの内容



標準的な登録期間\*

登録開始月	登録終了月	贈呈月
3月	8月	10月
9月	2月	4月

\* 12ヶ月を登録期間とする店舗もあります。

## 3. 助成先団体の基準

助成先団体としてお申込みいただくためには、次の基準 1 ~ 基準 4 までを満たすことが必要です。

基準 1 ) 団体の活動分野 ( 活動内容が次の 5 つの分野のうちいずれかにあてはまる )

活動分野		活動事例
1	福祉の増進を図る活動	お年寄り・障害者の介護、福祉施設、点字・手話・朗読サークル、授産施設、養護学校、盲学校、聾学校、フリースクール
2	環境保全・環境学習の推進を図る活動	リサイクル推進活動、環境教育活動、自然保護保全活動、地球温暖化防止活動、動物保護
3	街づくりの推進を図る活動	町の清掃活動、緑化活動、景観保持活動、事故防止・町の浄化活動
4	文化・芸術の振興を図る活動	伝統芸能の保護活動、文化事業の推進、芸術ボランティアの育成、地域に根ざした国際交流・協力活動
5	子供の健康と安全の増進を図る活動	スポーツを通じた子供の育成活動、ボーイ/ガールスカウト、こども会など子供の育成を目的とした各団体の活動

これらの活動分野の推進を行っている学校も対象とします。

基準 2 ) 店舗の近隣にて過去 6 ヶ月以上の活動実績があり、活動分野の目的を遂行しながら、今後も継続的に活動できる団体。

基準 3 ) 申込時に「団体登録申込書」「活動内容報告書」を提出、登録時に「団体登録承諾書」を提出し、定期的に「活動内容報告書(半年に 1 回)」を提出できる団体。

基準 4 ) イオンデーの店頭活動、その他必要に応じて交流活動ができる団体。

## 4. お申込みの前に

1. 団体の活動内容や状況によっては、登録のご希望に添えないことがあります。
2. 登録は、「1 団体 1 店舗のみの登録」とさせていただきます。( 但し、イオンリテール株店舗とマックスバリュ各社店舗など、運営会社が異なる店舗への複数登録は不可とさせていただきます。)
3. 基準を満たす団体が多数の場合、抽選や入替制などの方法を採用させていただく場合がございます。

## 5. 団体登録申込方法

### 「団体登録申込書」・「活動内容報告書」の入手方法

黄色いレシート実施店舗のサービスカウンターでお受取りいただくか、次のウェブページの書式を印刷することができます。  
(<http://www.aeon.info/environment/social/aeonday/form.pdf>) 必要事項をご記入ください。

### 申込書の受付場所・受付期間

登録を希望される店舗のサービスカウンターにお持ちください。電子メールなどによる受付は行っておりません。  
受付は年間を通して行なっています。

### 受付から登録まで

店長・従業員による面談後、登録の有無を決定し、書面にて連絡いたします。  
半年毎(店舗によっては 1 年毎)に、応援する団体を決定します。次の期間も登録を希望される場合は、その都度「団体登録申込書」「団体登録承諾書」「活動内容報告書」をご提出いただきます。

## 6. 贈呈品について

基本的に「イオン 幸せの黄色いレシート」実施店舗で販売されている商品から団体の活動目的に必要な品物を、贈呈額に応じてお選びいただきます。

# 趣意書

NPO 法人幕別札内スポーツクラブ 賛助会員（寄附金）様の募集

2021年吉日

地域の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。NPO 法人幕別札内スポーツクラブの主旨に賛同いただき、クラブを支え、応援団となってくださる方を募集しております。クラブ活動をはじめ、より一層の青少年健全育成、地域住民の健康増進等のために活用させていただきます。

## 【クラブ理念】

### ～地域で子どもたちを育てる～

次世代の地域社会づくりを担う子どもたちを中心にして、幕別町にゆかりのある人々が、いつでもどこでも、個人の能力と欲求に合わせて、サッカーを中心とした様々なスポーツや文化的活動が楽しめる環境をつくる。お互いにファミリーとして支え合い、人間性豊かな子どもたちの育成ならびに地域づくりに努める。

ご寄付を頂きました皆様のお名前ならびに企業名等はクラブのHP、広報誌、その他に掲載し公開させて頂きます。（公開を希望されない方は申しつけください。）

## — 記 —

☆賛助会員（寄附金） 1口（個人）2,000円（法人）10,000円

### ☆寄付金の要領

- (1) 依頼訪問者に直接渡して頂く方法
- (2) お振込いただく方法 ※振込手数料分を差し引いてお振込ください

【口座名】帯広信用金庫 札内支店 普通1263369

特定非営利活動法人幕別札内スポーツクラブ

### ☆寄付金の期間

2021年4月1日以降随時

（毎年4月1日以降、新年度の応募を行う予定であります）

### ☆お問合せ先

〒089-0531 北海道中川郡幕別町札内曉町287番地

TEL 090-5953-8678（渡部） FAX 0155-56-4083

ホームページ：<http://satsunaisc.east-hokkaido.co.jp/>

E-mail : [ecsproject21@gmail.com](mailto:ecsproject21@gmail.com)

幕別札内スポーツクラブ

検索



## 賛助会員入会申込書

年 月 日

(ふりがな)

お名前

御芳名の掲載名

※ 御芳名の表示を希望されない場合は、以下にレ印を記入してください。  
 外部に一切表示しない  印刷物への表示をしない  HPへの表示をしない

ご住所	〒	—
電話番号	(	) -
FAX番号	(	) -
E-mailアドレス		
ご担当者氏名及び部署 (法人・団体の場合のみ)	ご担当者氏名 部 署 名	
賛助金	□	円